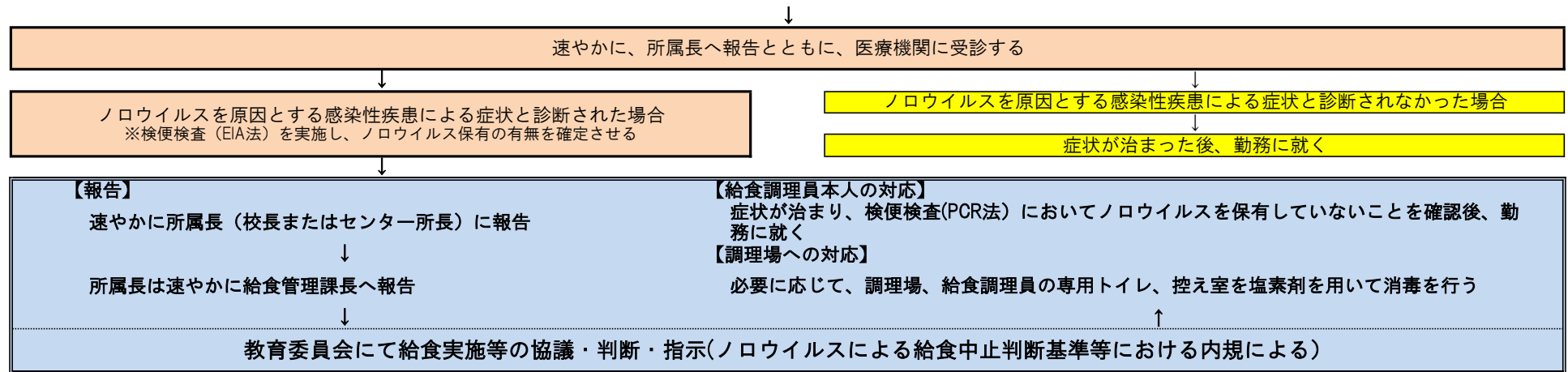
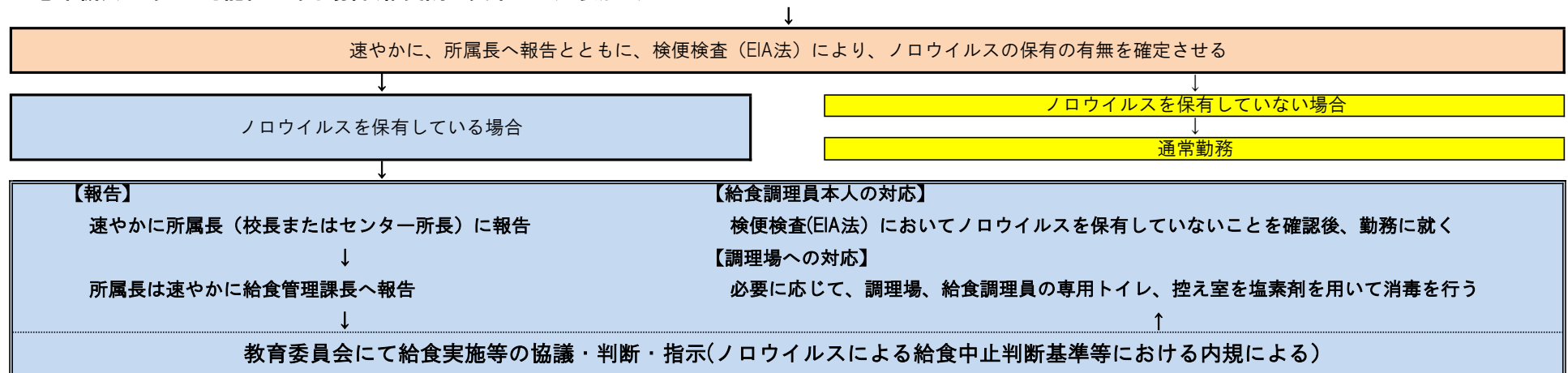


別紙17 学校給食従事者(給食調理員)等の感染性胃腸炎(ノロウイルス)罹患時における対応マニュアル

①給食調理員本人が下痢、発熱、腹痛、嘔吐など、感染性胃腸炎の症状を有する場合



②ノロウイルスにより発症した学校給食調理員と一緒に食事を喫食する、又は、ノロウイルスによる発症者が家族にいるなど、同一の感染機会があった可能性がある場合(給食調理員本人に症状無し)



※給食調理員を対象とするが、調理場に入る職務を担う職員についても、本対応マニュアルを準用するものとする。

その際、上記「勤務に就く」を「調理場へ入ることができるものとする」と読むこととする。

※本人受診の際に係る費用は個人負担とするが、松阪地区医師会臨床検査センターにおいて行なうノロウイルスの保有の有無を確定させる検便検査費用については原則、公費負担とする。

※上記以外の対応は、協議の上、別途指示するものとする。